YAMAHA

PJP-CAM1

プロジェクトフォン・フィッシュアイカメラ

取扱説明書

ヤマハ PJP-CAM1 をお買い上げいただきありがとうございます。
お使いになる前に本書をよくお読みになり、正しく設置や設定を行ってください。
本書中の警告や注意を必ず守り、正しく安全にお使いください。
本書はなくさないように、大切に保管してください。

目　次

はじめにお読みください ▶ 2 ページ
•付属品をご確認ください ▶ 2 ページ
安全上のご注意 ▶ 2 ページ
•本機を安全にお使いいただくために ▶ 2 ページ
•マークの意味 ▶ 2 ページ
警告 ▶ 3 ページ
注意 ▶ 3 ページ
使用上のご注意 ▶ 4 ページ
本書の表記について ▶ 4 ページ
必要なシステム ▶ 5 ページ
各部の名称とはたらき ▶ 6 ページ
準備する ▶ 7 ページ
•PJP-CAM1 カメラドライバをインストールする ▶ 7 ページ
•本機が正しく認識されているか確認する ▶ 8 ページ
基本的な使いかた ▶ 9 ページ
•PJP-CAM1 コントローラ画面の見かた ▶10 ページ
•本機の映像を表示する ▶11 ページ
•PJP-CAM1 コントローラ画面を最前面表示する ▶11 ページ
•ビデオ出力形式を設定する ▶11 ページ
•設定情報を保存する ▶12 ページ
•設定情報を読み込む ▶12 ページ
•PJP-CAM1 コントローラのバージョンを確認する ▶12 ページ
自動切換撮影モード ▶13 ページ
•正面を撮影する(正面モード) ▶13 ページ
•全周囲を撮影する(上面モード) ▶14 ページ
•書類を撮影する(OHPモード) ▶15 ページ
•カメラを持って撮影する(取り外しモード) ▶16 ページ
マニュアル撮影モード ▶17 ページ
PJPと組み合わせて使用する ▶18 ページ
•本機とPJPを設置する ▶18 ページ
•正面の話者を自動追尾して撮影する ▶19 ページ
•全周囲の中から話者を自動追尾して撮影する ▶19 ページ
最新の機能を利用する ▶20 ページ
•ネットワークからファームウェアを更新する ▶21 ページ
•ローカルファイルからファームウェアを更新する ▶22 ページ
•ファームウェアの更新履歴を確認する ▶22 ページ
サポート窓口のご案内 ▶23 ページ
•お問い合わせ窓口 ▶23 ページ
主な仕様 ▶23 ページ

はじめにお読みください

お買い上げいただき、ありがとうございます。
本機はパソコンに接続して使用するWeb会議システム用のUSBカメラです。

付属品をご確認ください

- USBケーブル(1本)
- ビデオケーブル(1本)
- スタンド(1個)
- ドキュメント用マット(1枚)
- CD-ROM(1枚)
- 取扱説明書(本書)(1冊)
- 保証書(1枚)

安全上のご注意

本機を安全にお使いいただくために

以下の点を必ず守ってお使いください。

安全のための注意事項を守る

詳しくは、2〜4ページをご覧ください。

故障したら使用を中止する。

お買い上げの販売店またはヤマハのお問い合わせ窓口(23ページ)にご連絡ください。

マークの意味

本書では、本機を安全にお使いいただくため、守っていただきたい事項に次のマークを表示していますので、必ずお読みください。

⚠警告

人体に危険を及ぼしたり、装置に大きな損害を与える可能性があることを示しています。必ず守ってください。

⚠注意

機能停止を招いたり、各種データを消してしまう可能性があることを示しています。十分注意してください。

- 本書の記載内容を一部または全部を無断で転載することを禁じます。
- 本書の内容および本体/アプリケーションの仕様は、改良のため予告なく変更されることがあります。
- 本機を使用した結果発生した情報の消失等の損失については、当社では責任を負いかねます。保証は本機の物損の範囲に限ります。予めご了承ください。

⚠警告

本機を安全にお使いいただくために、下記のご注意をよくお読みになり、必ず守ってお使いください。

- 本機は一般オフィス向けの製品であり、人の生命や高額財産などを扱うような高度な信頼性を要求される分野に適応するようには設計されていません。
  本機を誤って使用した結果発生したあらゆる損失について、当社では一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本機から発煙や異臭がするとき、内部に水分や薬品類が入ったときは、直ちにUSBケーブルを抜いて使用を中止してください。
- ケーブルを傷付けたり、無理に曲げたり、引っ張ったりしないでください。故障やショート、断線の原因となります。
- 本機を落下させたり、強い衝撃を与えたりしないでください。内部の部品が破損し、感電や火災、故障の原因となります。
- 本機を分解したり、改造したりしないでください。故障の原因となります。
- 本機のポートに異物を入れないでください。感電や故障、ショートの原因となります。
- 近くで雷が発生したときは、ケーブル類を取り外し、使用をお控えください。
- 本機を下記の場所には設置しないでください。
  – 浴室、加湿器を過度にきかせた部屋など
  – 屋外

⚠注意

本機を安全にお使いいただくために、下記のご注意をよくお読みになり、必ず守ってお使いください。

- 本機のコネクタ部分には直接手を触れないでください。 本機は静電気に敏感な部品を使用しているため、部品が故障する恐れがあります。コネクタの接点、部品などを素手で直接触れないでください。
- 直射日光や暖房器等の風が当たる場所、温度や湿度が高い場所には、置かないでください。故障や動作不良の原因となります。
- 極端に低温の場所や温度差が大きい場所、結露が発生しやすい場所で使用しないでください。故障や動作不良の原因となります。結露が発生した場合は、ケーブル類を本機から抜き、乾燥させ、充分室温に慣らしてから使用してください。
- ほこりが多い場所や油煙が飛ぶ場所、腐蝕性ガスがかかる場所、磁界が強い場所に置かないでください。故障や動作不良の原因となります。

使用上のご注意

- 本機の使用方法や設定を誤って使用した結果発生したあらゆる損失について、当社では一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本機を譲渡する際は、マニュアル類も同時に譲渡してください。
- 本機を廃棄する場合には不燃物ゴミとして廃棄してください。または、お住まいの自治体の指示に従ってください。

電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスA情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

本書の表記について

略称について

本書ではそれぞれの製品について、以下のように略称で記載しています。

- YAMAHA PJP-CAM1:本機
- YAMAHA PJP-50R: PJP-50R
- YAMAHA PJP-100UH: PJP-100UH
- YAMAHA PJP-25UR: PJP-25UR
- YAMAHA PJP-100H: PJP-100H
- ヤマハプロジェクトフォン: PJP
- ヤマハプロジェクトキャスト: PJC
- Microsoft® Windows®: Windows
- Microsoft® Windows XP®: Windows XP
- Microsoft® Windows Vista®: Windows Vista

設定例について

本書に記載されている機種名などの設定例は、説明のためのものです。実際に設定するときは、必ず実際のネットワーク構成に合わせた設定値をお使いください。

詳細な技術情報について

本機を使いこなすためには、パソコンの設定に関する詳しい知識が必要となる場合があります。付属のマニュアルではこれらの情報について解説しておりませんので、詳しくは市販の解説書などを参考にしてください。

商標について

Microsoft 、Windowsは米国Microsoft社の米国およびその他の国における登録商標です。

必要なシステム

本アプリケーションを使用するには、以下の条件が必要です。

パソコン

- OS（オペレーティングシステム）：Windows XP（SP2）またはWindows Vista（32ビット）
- CPU：Pentium III 1GHz以上
- RAM：256MB以上（512MB以上推奨）
- ハードディスクの空き領域：10MB以上
- USB：USB1.1またはUSB2.0
- ネットワーク：TCP/IP（PJP-50Rと組み合わせて使用する場合）
- その他：DirectX 8.0以上（Windows XPの場合）
  PJC-10 Ver.2.0以上（PJCと組み合わせて使用する場合）

ヤマハプロジェクトフォン

ご注意

以下の条件を満たしていない場合は、バージョンアップを行ってください。

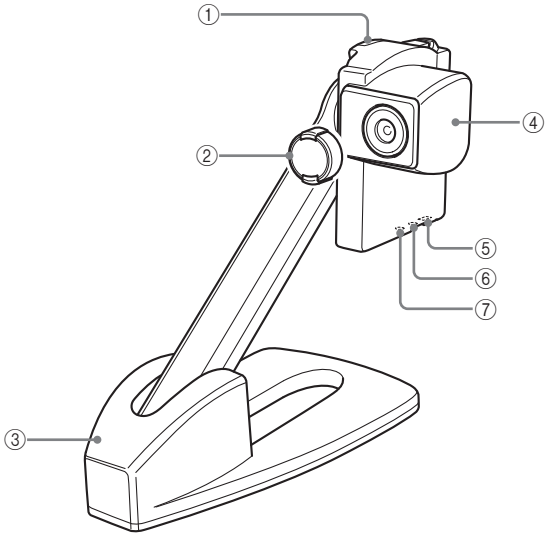
パソコンと組み合わせて使用する場合

PJP	ファームウェア	対応OS
PJP-50R	Ver.1.34以上	Windows XP
PJP-100UH	Ver.1.40以上	Windows XPまたはWindows Vista
PJP-25UR	Ver.1.12以上	Windows XPまたはWindows Vista

PJCと組み合わせて使用する場合

PJP	ファームウェア	対応OS
PJP-50R	Ver.2.02以上	Windows XP
PJP-100H	Ver.2.04以上	Windows XP

各部の名称とはたらき



① 取外しボタン

スタンドからカメラを取り外す際に使用します。

② レンズキャップ

撮影時にはレンズキャップを必ず外してください。

③ スタンド

折りたたむことができます。

④ カメラ

⑤ USBポート

USBケーブルでパソコンと接続します。

⑥ MIC端子

拡張用です。

⑦ VIDEO端子

映像信号を出力します。

準備する

PJP-CAM1カメラドライバをインストールする

下記の手順でPJP-CAM1カメラドライバをパソコンにインストールします。

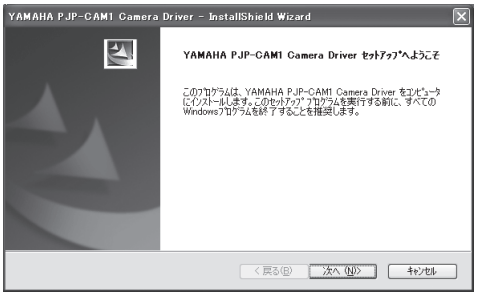
ご注意

- 予期しないデータ消失を防止するため、インストールする前にすべてのアプリケーションを終了してください。
- PJP-CAM1カメラドライバのインストールは、必ずAdministrator 権限のあるユーザでログオンして行ってください。

1 付属のCD-ROMをパソコンにセットする。

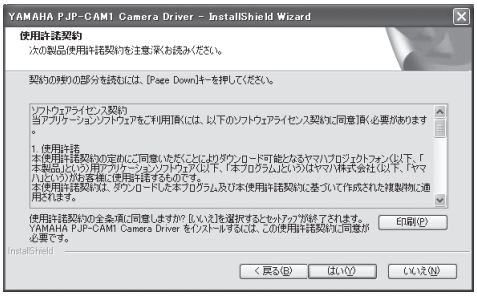
2 CD-ROMか　ら「PJP-CAM1 Camera Driver Setup.exe」をダブルクリックする。

セットアッププログラムが起動します。



3 「次へ」をクリックする。

「使用許諾契約」画面が表示されます。



4 使用許諾契約の内容をよく確認し、「はい」をクリックする。

本機の接続を促す画面が表示されます。

同意しない場合は、「いいえ」をクリックし、インストールを終了してください。

5 付属のUSBケーブルで本機をパソコンに接続する。

インストールが開始されます。

ヒント

ハードウェアの互換性についての警告メッセージが数回表示されることがありますが、弊社にて動作確認を行っておりますので「続行」をクリックしインストールを進めてください。

6 「完了」をクリックする。

インストールが完了します。

ヒント

インストール完了時に、再起動を求められる場合があります。その場合は、画面の指示にしたがって再起動してください。

アンインストール(削除)する場合は
以下の手順でPJP-CAM1カメラドライバをパソコンから削除します。

1 タスクバーから[スタート]-[コントロールパネル]の順に選択する。
「コントロールパネル」画面が表示されます。

2 「プログラムの追加と削除」をクリックする。
「プログラムの追加と削除」画面が表示されます。

3 「YAMAHA PJP-CAM1 Camera Driver」を選択し、「削除」をクリックする。
「ファイル削除の確認」画面が表示されます。

4 「OK」をクリックする。
アンインストールが開始されます。アンインストールが完了すると、「メンテナンスの完了」のメッセージが表示されます。

5 「完了」をクリックする。

ヒント
アンインストール完了時に、再起動を求められる場合があります。その場合は、画面の指示にしたがって再起動してください。

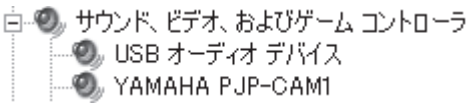
本機が正しく認識されているか確認する

接続が終わったら以下の操作を行って、パソコンが本機を正しく認識していることを確認します。

1 タスクバーから[スタート]–[コントロールパネル]–[システム]–[ハードウェア]タブ–[デバイスマネージャ]の順に選択する。
「デバイスマネージャ」画面が表示されます。

ご注意
[コントロールパネル]に[システム]のアイコンが表示されていない場合は、ウインドウ左側の[クラシック表示に切り替える]をクリックします。

2 次の項目が表示されていることを確認する。



本機の機種名が表示されない場合は、本機が正しく認識されていません。もう一度接続やパソコンの設定をご確認ください。

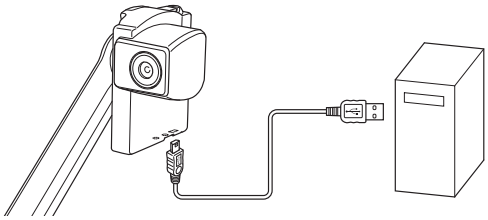
基本的な使いかた

本機を使用する場合の基本的な使いかたを説明します。

ご注意

本機を使ってビデオ会議に参加している時は、パソコンを休止状態にしないでください。復帰後にカメラの映像が正常に表示されない場合があります。

1 付属のUSBケーブルで本機とパソコンを接続する。



ご注意

1台のパソコンに複数のPJP-CAM1を接続することはできません。

2 パソコンを起動する。

PJP-CAM1コントローラが自動起動（初期値）し、パソコン画面右下のタスクトレイに が表示されます。

ヒント

初期値を変更し自動起動しない場合は、タスクバーから［スタート］-［すべてのプログラム］-［YAMAHA PJP-CAM1 CameraDriver］-［PJP-CAM1設定］の順に選択して、PJP-CAM1コントローラを起動します。

3 を右クリックし、「PJP-CAM1コントローラを表示する」を選択する。

「PJP-CAM1コントローラ」画面が表示されます。

4 設定を変更する。

使用する環境に合わせて、本機の設定を変更します。

終了する場合は

以下の手順でPJP-CAM1コントローラを終了します。

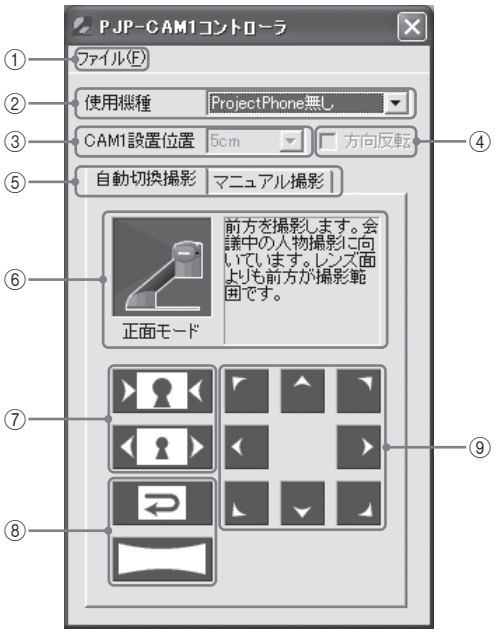
1 PJP-CAM1コントローラ画面のメニューバーから[ファイル]-[閉じる]の順に選択する。または画面右上の「 」をクリックする。

「PJP-CAM1コントローラ」画面が閉じます。

2 タスクトレイの を右クリックし、「終了」を選択する。

PJP-CAM1コントローラが終了します。

PJP-CAM1コントローラ画面の見かた



① ファイル

ファイルメニューを表示します。

② 使用機種

本機と組み合わせて使用するPJPを選択します。PJPと組み合わせない場合は、「ProjectPhone無し」を選択してください。

ヒント

PJCと組み合わせて使用する場合は、「プロジェクトキャスト構築ガイド」をご覧ください。

③ CAM1設置位置

PJPと組み合わせて使用する場合は、本機とPJPの距離を「5cm」、「25cm」、「50cm」、「1m」から選択します。

④ 方向反転

PJPと組み合わせて使用する場合に、本機とPJPの設置位置が初期値と反対方向の時にチェックします。

⑤ 撮影モードタブ

自動切換撮影モードとマニュアル撮影モードを切り替えます。

⑥ カメラ方向表示

撮影モードが「自動切換撮影」の場合に、撮影モードを表示します。

⑦ ズームボタン

カメラのズームを調節します。

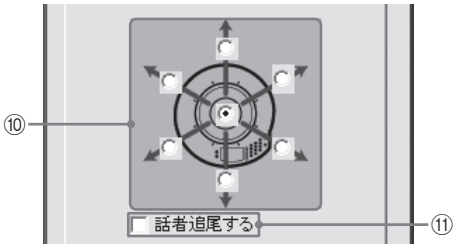
⑧ コントロールボタン

撮影方法を設定します。撮影モードによって表示内容が異なります。

⑨ 表示位置変更ボタン

切出し表示の場合に、表示領域の微調整をします。

PJPと組み合わせて使用する場合



⑩ 方向選択

PJPが感知する話者位置とカメラ戻り位置の中から、撮影する位置を選択します。

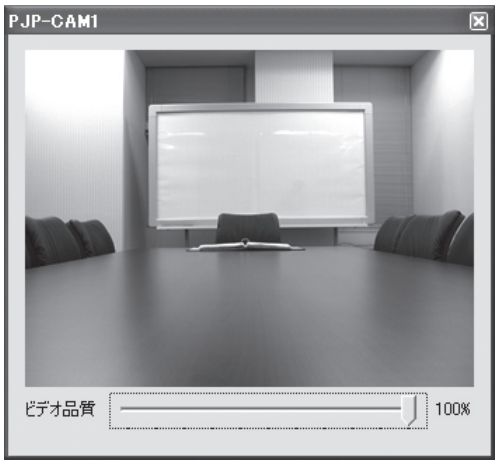
⑪ 話者追尾する

PJPの話者追尾機能と連動させ、本機の映像を自動的に切り替える場合にチェックします。

本機の映像を表示する

プレビュー画面を表示します。

- **PJP-CAM1 コントローラ画面のメニューバーから[ファイル]-[ビデオを表示する]の順に選択する。**
  「PJP-CAM1」画面が開き、本機からの映像を表示します。



画面下のスライドバーで、映像の品質を調整することができます。

ヒント

PJP-25UR / PJP-100UHと組み合わせて使用している時に、映像の品質が高いと映像および音声がスムーズに再生されない場合があります。スライドバーを左にドラッグして、映像の品質を落としてください。これによりスムーズに再生されます。

ご注意

青い画面が表示される場合は、他のアプリケーションで本機を使用しています。

プレビュー画面を閉じる場合は

再度[ビデオを表示する]を選択します。

PJP-CAM1 コントローラ画面を最前面表示する

常にPJP-CAM1 コントローラ画面を最前面表示する場合に設定します。

1 **PJP-CAM1 コントローラ画面のメニューバーから[ファイル]-[設定]の順に選択する。**
「設定」画面が表示されます。

2 **「常に前面に表示する」をチェックし、「OK」をクリックする。**

ビデオ出力形式を設定する

PJP-CAM1 のビデオ端子から出力されるビデオ信号の形式(NTSC / PAL)を設定します。

1 **PJP-CAM1 コントローラ画面のメニューバーから[ファイル]-[設定]の順に選択する。**
「設定」画面が表示されます。

2 **ビデオ出力形式を選択し、「OK」をクリックする。**

設定情報を保存する

現在の設定情報をファイルに保存します。

1 **PJP-CAM1 コントローラ画面のメニューバーから[ファイル]-[エクスポート]の順に選択する。**
「名前を付けて保存」画面が表示されます。

2 **ファイル名、ファイルの保存場所を指定し、「保存」をクリックする。**
設定情報が保存されます。

設定情報を読み込む

設定情報をファイルから読み込みます。

1 **PJP-CAM1 コントローラ画面のメニューバーから[ファイル]-[インポート]の順に選択する。**
「ファイルを開く」画面が表示されます。

2 **読み込むファイルを指定し、「開く」をクリックする。**
設定情報が読み込まれます。

PJP-CAM1 コントローラのバージョンを確認する

- **「PJP-CAM1 コントローラ」画面から「ファイル」–「バージョン情報」を選択する。**
「PJP-CAM1 コントローラについて」画面を表示し、バージョンを確認します。

自動切換撮影モード

自動切換撮影モードを選択した場合、カメラの向きで「正面モード」、「上面モード」、「OHPモード」、「取り外しモード」の4つの撮影モードが切り替わります。

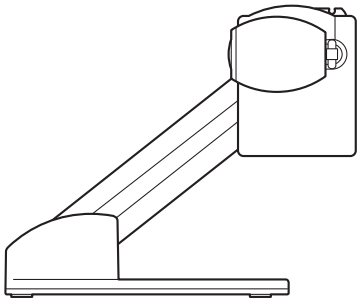
正面を撮影する(正面モード)

カメラを参加者の正面に向けて撮影し、任意の場所を指定して表示できます。

1 撮影モードタブで「自動切換撮影」を選択する。

2 カメラを正面に向ける。

撮影モードが「正面モード」に切り替わります。



3 コントロールボタンを使用して撮影方法を選択する。

:撮影範囲を初期値に戻します。
:撮影範囲を最大値に設定します。

4 ズームボタン、表示位置変更ボタンで撮影範囲を調整する。

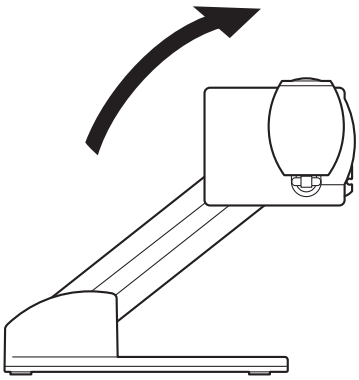
全周囲を撮影する（上面モード）

カメラを参加者の上に向けて撮影し、任意の場所を指定して表示、参加者全員のパノラマ表示、全周囲の半球表示ができます。

1 **撮影モードタブで「自動切換撮影」を選択する。**

2 **カメラを上に向ける。**

撮影モードが「上面モード」に切り替わります。



3 **コントロールボタンを使用して撮影方法を選択する。**

：全周囲の一部を切り出して表示します。
：上下二段で全周囲をパノラマ表示します。
：全周囲を半球表示します。

4 **ズームボタン、表示位置変更ボタンで撮影範囲を調整する。**

ご注意

コントロールボタンで、を選択した場合は、撮影範囲の調整はできません。

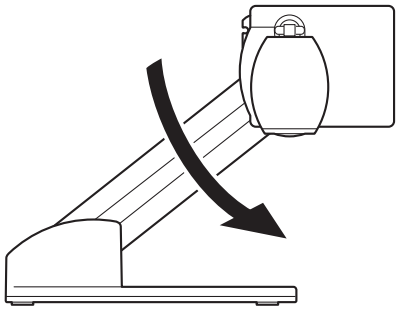
書類を撮影する(OHPモード)

カメラを下に向けて撮影すると、OHPのように書類を表示できます。

1 撮影モードタブで「自動切換撮影」を選択する。

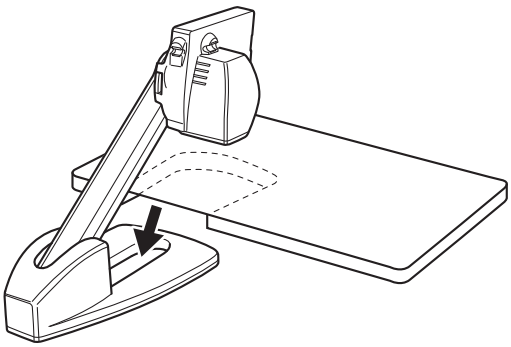
2 カメラを下に向ける。

撮影モードが「OHPモード」に切り替わります。



3 付属のドキュメント用マットを取り付ける。

ドキュメント用マットのミゾをスタンドに合わせて取り付けます。



4 コントロールボタンを使用して撮影方法を選択する。

A5 :A5サイズの書類が収まるように画角を設定します。

90° :映像を90度ずつ回転させます。

5 ズームボタンで撮影範囲を調整する。

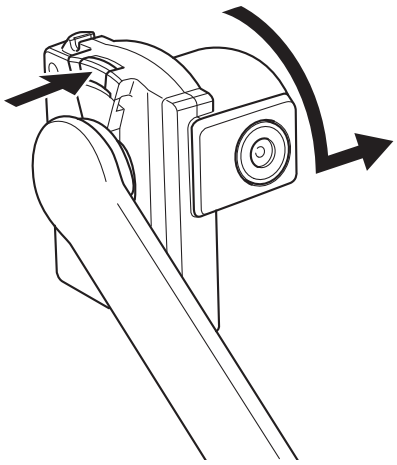
カメラを持って撮影する(取り外しモード)

カメラをスタンドから取り外し、手に持ったまま撮影します。高さや方向を自由に変えることができます。

1 **撮影モードタブで「自動切換撮影」を選択する。**

2 **カメラを取り外す。**

取外しボタンを押しながら、カメラを回転させて取り外します。



撮影モードが「取り外しモード」に切り替わります。

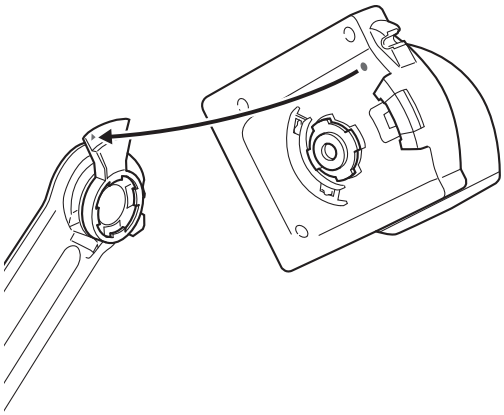
3 **カメラを撮影対象に向ける。**

4 **ズームボタンで撮影範囲を調整する。**

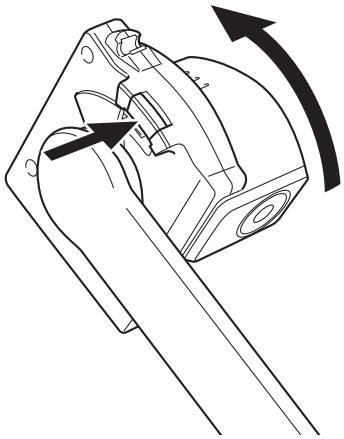
撮影範囲を初期値に戻すには をクリックします。

カメラの取付け方

1 **カメラとスタンドの印を合わせるように取り付ける。**



2 **取外しボタンを押しながら、カメラ部を回転させて固定する。**



マニュアル撮影モード

使用環境に合わせて手動で撮影設定を行います。

1 **撮影モードタブで「マニュアル撮影」を選択する。**

2 **カメラの向きを切り替える。**

3 **コントロールボタンを使用して撮影方法を選択する。**

:画角を最大値に設定します。
:上下二段で全周囲をパノラマ表示します。
:全周囲を半球表示します。

4 **ズームボタンで撮影範囲を調整する。**

ご注意

コントロールボタンで、を選択した場合は、撮影範囲の調整はできません。

PJPと組み合わせて使用する

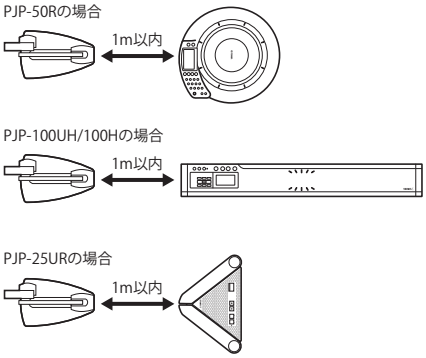
本機はPJPと組み合わせることで、PJPのマイクが感知した話者位置情報に基づき、話者方向を自動的に撮影することができます。

本機とPJPを設置する

以下の手順で本機とPJPを設置します。

1 会議を行う場所に、本機とPJPを設置する。

下図のように本機とPJPを設置します。本機とPJPの設置距離は1m以内です。（初期値で使用する場合）



2 PJPをパソコンに接続する。

PJP-50Rの接続方法は
付属のCD-ROMに収録されている「PJP-50Rオーディオドライバ設定取扱説明書」（「PJP-50R AudioDriver」フォルダ内のPDFファイル）をご覧下さい。

PJP-100UH / PJP-25URの接続方法は
お使いのPJPの取扱説明書をご覧ください。

ご注意

PJP-25URを使用する場合は、PJP-25URコントローラの起動が必要です。「PJP-25URの使い方」をご覧ください。

ヒント

PJCと組み合わせて使用する場合は、「プロジェクトキャスト構築ガイド」をご覧ください。

3 本機をパソコンに接続する。

4 を右クリックし、「PJP-CAM1コントローラを表示する」を選択する。

「PJP-CAM1コントローラ」画面が表示されます。

5 「使用機種」項目でお使いのPJPを選択する。

6 「CAM1設置位置」項目で、本機とPJPとの設置位置を選択する。

本機とPJPの設置位置は「5cm」、「25cm」、「50cm」、「1m」から選択してください。

ご注意

手順1の設置方向と逆方向に設置した場合は、「方向反転」項目をチェックしてください。

正面の話者を自動追尾して撮影する

カメラを参加者の正面に向けて撮影します。PJPのマイクが感知した話者位置情報をもとに、話者方向を自動的に切り出して表示します。

1 「PJP-CAM1コントローラ」画面の撮影モードタブから「自動切換撮影」を選択する。

2 カメラを正面に向ける。

撮影モードが「正面モード」に切り替わります。

3 「話者追尾する」項目をチェックする。

ヒント

自動追尾を使用しない場合は、方向選択項目で、撮影する位置を選択し、撮影方向を切り換えます。

全周囲の中から話者を自動追尾して撮影する

カメラを上に向けて全周囲を撮影します。PJPのマイクが感知した話者位置情報をもとに、話者方向を自動的に切り出して表示します。

1 「PJP-CAM1コントローラ」画面の撮影モードタブから「自動切換撮影」を選択する。

2 カメラを上に向ける。

撮影モードが「上面モード」に切り替わります。

3 「話者追尾する」項目をチェックする。

ヒント

自動追尾を使用しない場合は、「方向選択」項目で、撮影する位置を選択し、撮影方向を切り換えます。

最新の機能を利用する

インターネットから本機の機能を管理するプログラム(ファームウェア)をダウンロードして、最新の機能をご利用いただけます(リビジョンアップ)。

ソフトウェアライセンス契約

リビジョンアップ機能をご利用頂くには、以下のソフトウェアライセンス契約に同意頂く必要があります。

1. 使用許諾

本使用許諾契約の定めにご同意いただくことによりダウンロード可能となるPJP-CAM1（以下、「本製品」という)用ファームウェア(以下、「本プログラム」という)はヤマハ株式会社(以下、「ヤマハ」という)がお客様に使用許諾するものです。
本使用許諾契約は、ダウンロードした本プログラム及び本使用許諾契約に基づいて作成された複製物に適用されます。

2. 再配布の禁止

本プログラムは、本製品の機能アップグレードを目的とした場合に限りダウンロードすることができます。不特定多数の者によるアクセスが可能なウェブ・サイトなどにアップロード、掲示することはヤマハの許可を得た場合を除きできないものとします。

3. 複製物の作成

バックアップ目的及び、複数の本製品のアップグレードに必要な場合を除き、本プログラムの複製物の作成はできないものとします。

4. 逆コンパイル、リバースエンジニアリング、逆アセンブルの禁止

お客様は、本プログラム又はその一部を、逆コンパイルし、リバースエンジニアリングし、逆アセンブルし、修正し、再使用許諾し、頒布し、二次的著作物を創作しないものとします。

5. 責任の制限

過失を含むいかなる場合であっても、ヤマハは、本使用許諾契約に起因するお客様側の損害について一切の責任を負いません。

6. 外国為替法及び外国貿易法による規制

本プログラムは、「外国為替及び外国貿易法第25条第1項」に基づいて規制される技術(役務)に該当します。このため、本プログラム、及び本プログラムをインストールした本製品の日本国外への持ち出しには、日本政府による輸出許可が必要となる場合があります。また、本プログラムの、日本国内に住所を持たない人への提供にも、日本政府による許可が必要となる場合があります。

7. 日本に居住する人への限定提供

本プログラムは、日本国内に居住する法人または個人にのみ提供されるものとします。

8. 日本国法令の準拠

本使用許諾契約は、日本国の法令に準拠し、これに基づいて解釈されるものとします。

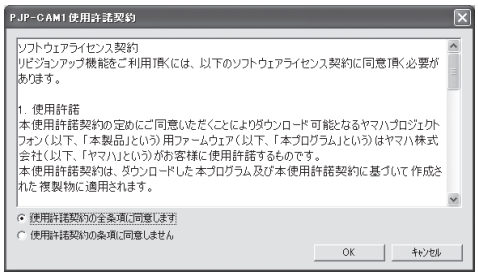
ネットワークからファームウェアを更新する

ご注意

- 本機を接続したパソコンがインターネット接続できない環境にある場合は、ファームウェアを更新できません。「ローカルファイルからファームウェアを更新する」(22ページ)をご覧ください。
- ファームウェアの更新を始めたら、完了するまで他の操作は絶対しないでください。万一、中断したときは本機が使えなくなることがあります。その場合は、持ち込み修理が必要となります。
- ファームウェアの更新中は、絶対にUSBケーブルやLANケーブルを抜かないでください。本機が使えなくなり、持ち込み修理が必要となる場合があります。

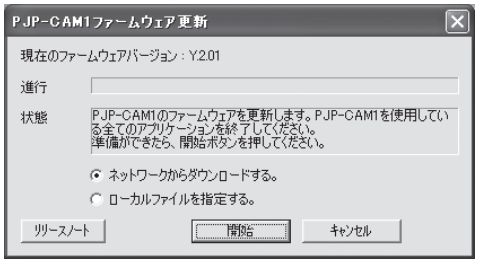
1 PJP-CAM1コントローラ画面のメニューバーから[ファイル]-[PJP-CAM1ファームウェア更新]の順に選択する。

「PJP-CAM1 使用許諾契約」画面が表示されます。



2 使用許諾契約の内容をよく確認して「使用許諾契約の全条項に同意します」を選択し、「OK」をクリックする。

「PJP-CAM1ファームウェア更新」画面が表示されます。



同意しない場合は、「使用許諾契約の条項に同意しません」をクリックし、ファームウェアの更新を終了してください。

3 「ネットワークからダウンロードする」を選択し、「開始」をクリックする。

ファームウェアのバージョン確認画面が表示されます。

4 ファームウェアのバージョンに問題がない場合は、「OK」をクリックする。

ファームウェアの更新が開始されます。

ファームウェア入手のための接続先を、任意に指定する

社内のPJP-CAM1で使用するファームウェアのバージョンを管理したい場合などに便利です。

1 PJP-CAM1コントローラ画面のメニューバーから[ファイル]-[設定]の順に選択する。

「設定」画面が表示されます。

2 ファームウェア更新時に接続するURLを入力する。

ヒント

「デフォルト」をクリックすると、ファームウェア更新時に接続するURLが初期状態に戻ります。

3 「OK」をクリックする。

ファームウェア更新時に接続するURLが変更されます。

ローカルファイルからファームウェアを更新する

本機を接続したパソコンがインターネットに接続できない環境にある場合は、他のパソコンなどから最新のファームウェアを入手し手動で更新します。

ご注意

- ファームウェアの更新を始めたら、完了するまで他の操作は絶対しないでください。万一、中断したときは本機が使えなくなることがあります。その場合は、持ち込み修理が必要となります。
- ファームウェアの更新中は、絶対にUSBケーブルやLANケーブルを抜かないでください。本機が使えなくなり、持ち込み修理が必要となる場合があります。

1 PJP-CAM1コントローラ画面のメニューバーから[ファイル]-[PJP-CAM1ファームウェア更新]の順に選択する。

「PJP-CAM1 使用許諾契約」画面が表示されます。

2 使用許諾契約の内容をよく確認して「使用許諾契約の全条項に同意します」を選択し、「OK」をクリックする。

「PJP-CAM1ファームウェア更新」画面が表示されます。

同意しない場合は、「使用許諾契約の条項に同意しません」をクリックし、ファームウェアの更新を終了してください。

3 「ローカルファイルを指定する」を選択し、「開始」をクリックする。

「ファイルを開く」画面が表示されます。

4 更新するファームウェアを選択し、「開く」をクリックする。

ファームウェアのバージョン確認画面が表示されます。

5 ファームウェアのバージョンに問題がない場合は、「OK」をクリックする。

ファームウェアの更新が開始されます。

ファームウェアの更新履歴を確認する

「PJP-CAM1ファームウェア更新」画面の「リリースノート」をクリックすると、ファームウェアの更新履歴を確認することができます。

サポート窓口のご案内

お問い合わせ窓口

本機に関する技術的なご質問やお問い合わせは、下記へご連絡ください。

お客様ご相談窓口
TEL：053-460-2822

ご相談受付時間
9時～12時、13時～17時
（土・日・祝日、弊社定休日、年末年始は休業とさせて頂きます）

お問い合わせページ
http://www.yamaha.co.jp/projectphone/

主な仕様

外形寸法（幅×高さ×奥行き）：
124mm×196mm×235mm

質量：
約0.5kg（スタンド装着時）

電源：
5V 500mA（USBバスパワーに対応）

消費電力：
2.5W

動作環境条件：
周囲温度 0～40°C
周囲湿度 20～85 %（結露しないこと）

電波障害規格：
VCCIクラスA

USB端子：
mini USB端子（USB1.1）

映像出力インターフェース：
ビデオ：NTSC/PAL
コネクタ：ミニジャック

外部マイク入力インターフェース：
コネクタ：ミニジャック
（モノラル、プラグインパワー）

カメラ：
1/2型単板式CMOS
約315万画素（対角線画角180度）

付属品：
USBケーブル(1本)
ビデオケーブル(1本)
スタンド(1個)
ドキュメント用マット(1枚)
CD-ROM(1枚)
取扱説明書(本書)(1冊)
保証書(1枚)

YAMAHA

●―お客様ご相談センター
TEL 053-460-2822

ご相談受付時間
9時～12時、13時～17時
（土・日・祝日、弊社定休日、年末年始は休業とさせて頂きます）

お問い合わせページ
http://www.yamaha.co.jp/projectphone/

WP85820

（2008 年 3 月 第 2 版）